

令和6年8月9日（金）

第27回 愛教研小・中学校道德教育研究大会

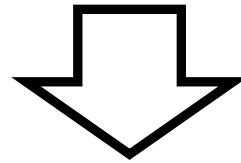
基調提案

よりよく生きるための基盤となる道德性が育つ道德教育の研究
— 学びがいのある道德科の授業を要として —

愛媛県教育研究協議会道德委員会 研究部 小島啓明

【令和5年度】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の研究
— 学びがいのある道徳科の授業を要として —



【令和6年度】

よりよく生きるための基盤となる道徳性が育つ道徳教育の研究
— 学びがいのある道徳科の授業を要として —

【研究主題】

よりよく生きるための基盤となる道徳性が育つ道徳教育の研究
ー 学びがいのある道徳科の授業を要として ー

【主題設定の理由】

- ① 社会情勢
- ② 学習指導要領に書かれていること
- ③ その上で私たちが大切にしたいこと

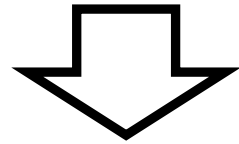
【主題設定の理由 - 社会情勢 - 】

- 多様な価値観や文化が複雑かつ密接に絡み合う
- 他者と協働しながら考える
- 自らよりよく課題を解決する力が不可欠
- 多面的・多角的に考え判断する力の必要性
- 心構えや身構えを持って行動する子どもの育成

【主題設定の理由 - 学習指導要領 -】

道徳教育と道徳科（学習指導要領第1章 総則の第1の2の(2)の3段目より）

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと」



「道徳科を道徳教育の要として実効性のあるものとする
には、道徳科の特質を踏まえた授業を実践」

【主題設定の理由 - 学習指導要領 - 】

【要となる道徳科 学習指導要領「第3章 特別の教科道徳」の「第1目標」より）】

道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。※（ ）は中学校

（そのためには）

- ・ 補ったり、深めたり、発展させ統合させたりすること
⇒ 計画的・発展的に道徳科の指導を進めていくこと

【 主題設定の理由 - 私たちが大切にしたいこと - 】

これからも大切にしていこうこと

- 「**道徳教育や道徳科**」を充実させること
 - ・ 各校が目指す道徳教育目標を達成するため

- 「**学びがいのある授業**」を充実させていこうこと
 - ・ 対話の在り方を「**要**」として
 - ⇒ ・ 「**共に考え、語り合う場**」の設定
 - ・ **道徳的価値の自覚を深める**

【学びがいのある授業を充実させていくために】

○ 「学びがいのある授業」の捉え

- ・ 真剣に考えることができた時間
- ・ 自分の思いや考えが素直に誠実に発言できた時間
- ・ 自分の思いや考えがみんなに認められた時間
- ・ 自分をもっていない価値観に出会えた時間
- ・ 道徳的価値の大切さを再認識、再確認できた時間
- ・ 守るべき道徳を自らが納得してつくることができた時間

研究の視点

- I 道徳教育の推進と充実
- II 学びがいのある道徳科の授業の充実
- III 開かれた道徳教育の充実

【研究の視点Ⅰ 道徳教育の推進と充実】

- (1) 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心とした、道徳教育の推進体制を確立
- (2) 各校の実態及び特色を生かした、全体計画・年間指導計画などを作成
- (3) 重点内容項目を意識し、各教科等との横断的な学びを実現
- (4) 道徳科の目標を基に「学びがいのある授業」が実施に向けての研修を推進

【研究の視点Ⅰ 道徳教育の推進と充実】

各校が目指す道徳教育目標の達成

【教育活動全体の中で】

- ・ 実効性のある「道徳教育」
- ・ 子どもの成長の見取り

道徳教育

【校長のリーダーシップ】

- ・ 推進体制の整備
- ・ 諸計画の策定と運用

【重点内容項目を意識】

- ・ 教育活動との関連の明確化
- ・ 各教科等横断的な学び

道徳科

【校内研修の充実】

- ・ 道徳科の目標（要の意識）
- ・ 「学びがいのある」授業のために

道徳に関する各校の取組

【研究の視点Ⅰ 道徳教育の推進と充実】

高学年の重点項目

- 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること
- 誰に対しても差別をすることなく、偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること
- 生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること

内容/月		4月	5月	6月	7月
主な学校行事		始業式・入学式 Cよりよい学校生活 交通安全教室 D生命の尊重 遠足B友情、信頼	避難訓練 C生命の尊重	大洲青少年交流の家 B相互理解、寛容 C プール開き D生命の尊重	大洲青少年交流の家 C勤労、公共の精神 終業式Cよりよい学校生活 郡大会記録会 A希望と勇気、努力と強い意志
	道徳	星野君の二るい打 C規則の尊重 遠足の子どもたち A善悪の判断、自律、	残った仕事 C公正、公平、社会正 オーストラリアで学ん B礼儀	いつも全力で A節度、節制 見えた答案 A正直、誠実	へんぞな—正岡子規 A希望と勇気、努力と強い意 折り紙の花束 B親切、思いやり お父さんのおべんとう
特別活動	学級活動	学級活動 A希望と勇気、努力と強い意志 B相互理解、寛容	公共の精神 C勤労、	結食マナー A節度、 節制	A希望と勇気、努力と強い意志
		自転車と交通安全 C①規則の尊重、 遵法	大洲青少年 利用活動 友情男女 協力	むし歯の予防 A①節度ある生活 態度	有意義な夏休みに向けて A①節度ある生活態度
	クラブ・委員会・ 児童会	分団会 C①公德心・規則尊重	1年生とふれあう会 B②思いやり親切	雨の日の過ごし方 C①規則の尊重	
	あめ玉	春から夏へ		水泳と安全 D①生命の尊重	
				次への一歩——活動	夏の日

重点内容項目をマーキングすることによって、視覚的に
 どういうことが関連しているか、意識付けできる。


【研究の視点Ⅰ 道徳教育の推進と充実】



【校内研修は、目的を明確にして実施する】

- 道徳教育の重要な役割について認識し、要となる道徳科の役割を明確にすることを通して、よりよい指導内容と指導方法の充実を図る。
- 道徳的諸価値についての理解を基に、多面的・多角的に考える実践を通して、自己を見つめた児童生徒からの意見を引き出す方法について探る。 など

【研究の視点Ⅰ 道徳教育の推進と充実】

道徳科3つの約束	深め合う (道徳科ではここまで)	伝える
<p>① 教材を読んだり、自分の考えを述べ、しめ合おう。</p> <p>② 友だちや先生の話をよく聞いて、よく考えよう。</p> <p>③ 友だちや先生の話をよく聞いて、自分の考えを述べ、しめ合おう。</p>	<p>「他の人の意見と、自分の考えを比較する」</p> <p>☆ ……のことについて言うと、……です。</p> <p>☆ 私は〇〇さんの意見と違って……です。理由は……だからです。</p> <p>☆ 〇〇さんの意見に付け足します。</p> <p>☆ ……の意見を聞いて、……と思いました。</p> <p>☆ 〇〇さんの意見を聞いて、……と思いました。</p> <p>☆ 私も〇〇さんと同じ意見です。</p> <p>☆ ……な考え方もできることを知りました。</p> <p>〈質問や感想を言う〉</p> <p>「班の人の意見を聞いて、どう思いましたか。」</p> <p>「わたしも同じように自分の意見を述べたいです。」</p> <p>〈質問や感想を言う〉</p>	<p>「おひがさん、おはようでした。次の人をお願いします。」</p> <p>「おひがさん、おはようでした。自分の意見を述べたいです。」</p> <p>(一人三〇秒を目安)</p> <p>☆ 私は……だと考えます(思います)。</p> <p>☆ 根拠としては……だからです。</p> <p>☆ 自分だったら……したいと思います。</p> 

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実
- (2) 明確な指導観を持ち、「指導と評価の一体化」を図る
- (3) 多様な価値観に触れる
- (4) 道徳的諸価値の理解を深め、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自己の生き方を考える

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実

○「個別最適な学び」… 子どもの学習進度等に応じて重点的な指導を行ったり、教材の柔軟な提供・設定をする。

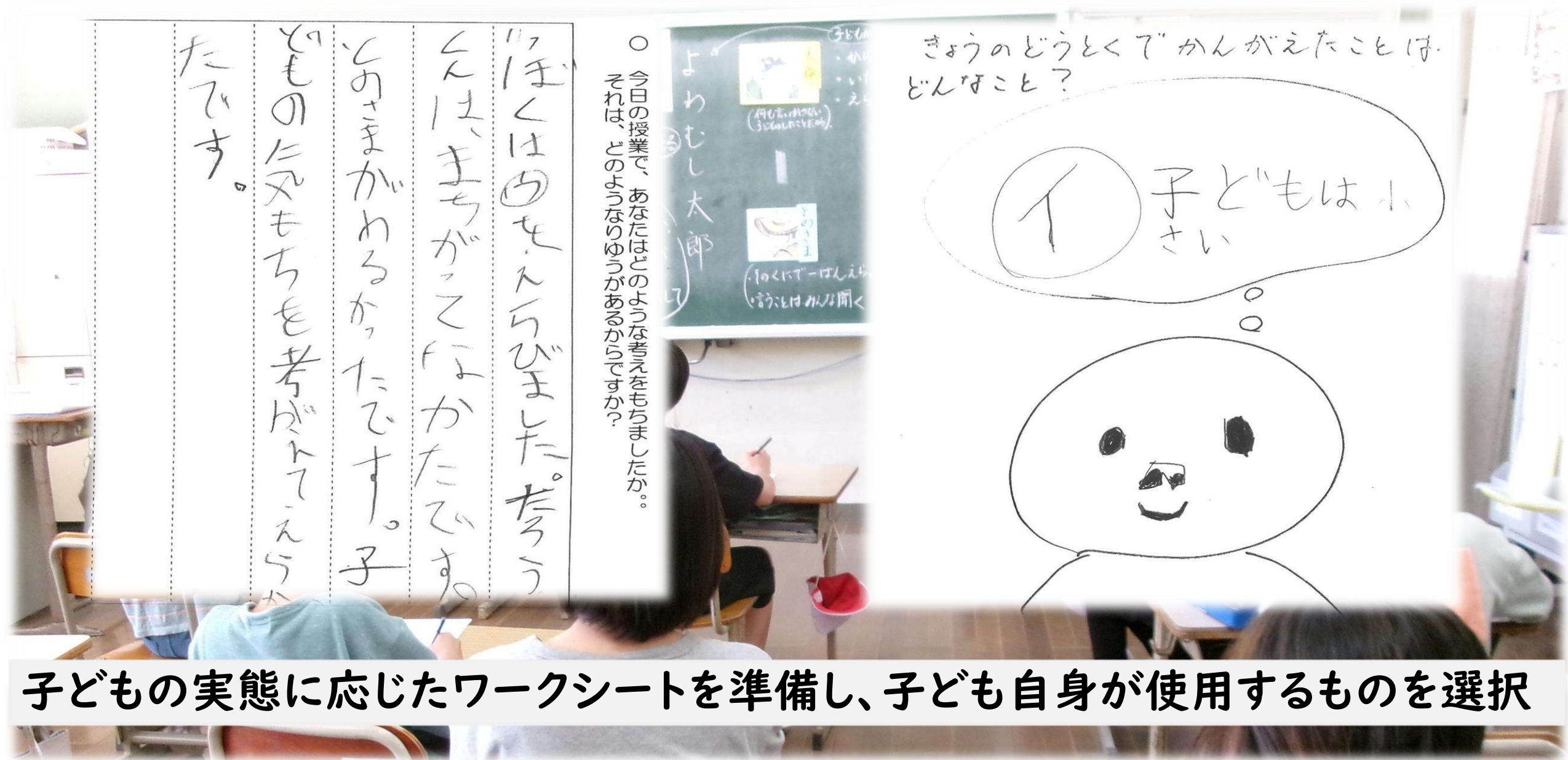
+

○「協働的な学び」… 探究的な学習や体験学習等を通じ、子どものよさや、可能性を生かす。



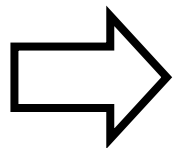
一体的に実施していくことで、「考え、議論する道徳」を目指す

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】



【自分の気持ちを表現する】

4/16



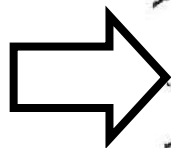
9/17

家の中におかしのゴミがあったので拾いました。見（あり）が言われました。

10/15

公園でらしゃに友だちと拾ったゴミがおちていたのであげました。おじさんが（おじ）がとうと云った。

2/18



ぼくは廊下は走りません。せなら

ハシからりすたて転ぶからです。

次からは廊下を走らずに行くと。

理由は友達とふたりにした病院か

おじさんおじさん

- 日々の積み重ね
- 授業づくり が大切



りゆう公園にゴミが落ちていたらまもちよけよいです。イ葉は拾いた。

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

(2) 明確な指導観を持ち、「指導と評価の一体化」を図る

○「授業づくり～授業後までの流れ」

- ・子どもの発達の段階を踏まえる。
- ・道徳科の特質を十分に考慮した学習過程、指導構想
- ・ねらいとする道徳的価値について考えを深める時間

+

○「子どもにとっての評価、教師にとっての評価」

- ・子どもの学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握
- ・授業改善に生かす「評価」



「指導と評価の一体化」

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

道徳科学習指導案

指導者

於/ ○組教室、北玄閣

- 1 日時 令和6年5月27日(火) 9:25 ~ 10:10
- 2 主題名 やさしい心【D(自然愛護)】
- 3 教材名 げんきにそでて、ミニトマト(東京書籍)
- 4 指導に当たって

(1) ねらいとする価値について

自然愛護とは自然や動植物との関わりに関するもので、「自然や動植物を受し、大切にするといい気持ちをもてること」をねらいとする。

① ねらいとする道徳的価値についての指導者の捉え

等において生活圏を積み重ねたり、起こさせたりして、動物や植物の持つ不思議さ、生命の力、ともに生きていこうとすることの楽しさなどを感じさせることや自然や動植物を大切に守り育てようとする気持ちを育てていくことが必要であると考えます。

(2) 児童の実態

○組の児童は、道徳科や自立活動の時間にてモラルスキルや園芸作業など体験的な学習を交えながら、挨拶や返事のよさや片付けのしっかしり行うことなど、日常生活を行う上で大切なことを継続して学んでいる。作業活動の中心となる園芸活動やドジョウの飼育を通して、愛着を持ったり、観察を楽しんだりする姿が見られるようになってきた。

② ねらいとする道徳的価値を子どもの実態に重ねたとき、どのようなことが求められるのか。

③	
④	

③ 本時で扱う教材をどのように解釈しているか。

(4) 教材について

「わたし」がミニトマトの苗を一生懸命に世話する姿から、動植物にも生命があり、優しい心で接することのよさを感じ取ることができている。「わたし」の姿と児童自身の経験を重ね合わせることで、動植物を大切に守り育てるの感じ方や考え方について、多面的・多角的な捉えができる。

④ 授業では、どのように工夫し、指導するとよいのか。

ミニトマトに対する愛着について考えさせ、それから、手順の提示など手立てを講じた上で、実際にミニトマトを植えさせる。児童自身が「何を感し、考えたのか」を表出させたい。そして、「わたしの思い」と児童の考えたことを発表させながら、動植物への接し方などについて考えさせること、優しい心を持つて居ることを大切にしたい。

5 本時の学習

- (1) ねらい：私のミニトマトに対する愛着を感じ、植物を大切に世話することについて発表し合いながら動植物愛護について考える。その際、野菜を植える経験から、優しい心で接し上

⑤ 本時のねらいは何なのか。

道徳的価値の方向付けをする。	みなさんが体験し見たりしている生き物や植物の姿を写真で撮り、授業で様子を見せたい。	○ 動植物との関わりを想起させることで、ねらいとする道徳的価値について、関心を向けさせる。
2 教材「げんきにそでてミニトマト」の言葉を基にねらいとする道徳的価値について考える。	私はどんなことをミニトマトの苗に話し掛けようかな。 - ドジョウ - 体育館の花、マリーゴールドやビオラ、キンセンカや3輪草、ランタナなど。 私はどんなことをミニトマトの苗に話し掛けようかな。 - 元気に育ってほしい。 - 枯れないでほしい。 - おいしいミニトマトが収穫できたらいいな。	○ 「わたし」がミニトマトに話し掛けながら水やりをしていることを考えさせることで、「わたしの思い」に触れさせる。その際、センチンスカードを示し、視覚的に「わたし」の言葉が理解できるようにさせる。 ○ 「わたし」の気持ちに思いを持たせた上で、ミニトマトの成長の様子を写真で撮り、授業で様子を見せたい。

⑥ この授業は、どのような評価をするのか。

3 本時のまとめをする。	学習のまとめをしよう。 - 優しく扱うと生き物も喜ぶね。 - 枯れないでほしい。 - 育てるなら大きくなってほしい。 - 一生懸命育てたい。(ミニトマトのポイント)	「わたしの思い」に触れることやミニトマトを植える経験を通して、動植物への接し方についての自分の価値観を改めて明確にできているか。 (発言、ワークシート)
--------------	--	---

6 児童理解のために

ミニトマトの苗植えをしているときの「つぶやき」や「作業の動き」を観察してください。

研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

道徳科学習指導案

(4) 教材について

【ねらい】

「わたし」のミニトマトに対する愛着を感じて、植物を大切に世話することについて発表し合いながら動植物愛護について考える。そして、野菜を植える経験から、優しい心で接しようとする心情を養うために、動植物愛護についての自分の価値観を改めて明確にする。

も生命があり、優しい心で
自身の経験を重ね合わせる
面的・多角的な捉えができる

て話合うことは難しい学習
習頭部にある「わたしのミニ
授業を展開する。

動作化させることで、ミニ
立てを講じた上で、実際にミ
表出させたい。そして、「わ
などについて考えさせるこ

ることについて発表し合い

ながら動植物愛護について考える。その際、野菜を植える経験から、優しい心で接しようとする心情を養うために、動植物愛護についての自分の価値観を改めて明確にする。

(2) 準備物：ミニトマトの苗、鉢、栽培用具一式、センテンスカード

(3) 展開

学習活動	発問等と予想される反応	指導上の留意点(●：評価)
1. わらいとする道徳的価値の方向付けをする。	みなさんが世話したり、授業で様子を見たりしている生き物は何か。 ・ドジョウ ・体育館の花、マリーゴールドやビオラ、 ・モンセンカや3種類のプランターなど。	○ 動植物との関わりを想起させることで、わらいとする道徳的価値について、関心に向けさせる。
2. 教材「げんきにそだてミニトマト」の言葉を基にわらいとする道徳	私はどんなことを考えたから、ミニトマトの苗に話し掛けながら水やりをするのだろう。	○ 「わたし」がミニトマトに話し掛けながら水やりをしていることを考えさせることで、「わたしの思い」に触れさせる。その際、センテンスカードを示し、視覚的に「わたし」の言葉が理解できるようにさせる。 ○ 「わたし」の気持ちに問いを持たせた上で、ミニトマトの苗植えをさせる。 ○ 実際に植えてみたときに自分が考えたことと「わたしの思い」を見比べさせながら「植物に対する思い(見方・考え方)」を広げさせる。 ● ミニトマトを植えるときに感じたことについて発表し合いながら生き物との接し方について考えられているか。(観察、発言)
		● 「わたしの思い」に触れることやミニトマトを植える経験を通して、動植物への接し方についての自分の価値観を改めて明確にできているか。(発言、ワークシート)

ねらいと評価の整合性

(2) 児童の実態

○組の児童は、道徳科や自立活動の時間にてモラルスキルや園芸作業など、体験的に学習を交えながら、挨拶や返事のよさや片付けまで続して学んでいる。作業活動の中心と観察を楽しんだりする姿が見られるよ
本時では、体験的な学習を行う。そ
について、個別に示す。

①	

【評価】

- 「わたし」がミニトマトを植えるときに感じたことについて発表し合いながら生き物との接し方について考えられているか。
- 「わたしの思い」に触れることやミニトマトを植える経験を通して、動植物への接し方についての自分の価値観を改めて明確にできているか。

いいな。
ら苗を

ポイント)

」や「作業の動き」を観察してください。

(3) 多様な価値観に触れる

→ 様々な視点から理解し主体的に学習に取り組む

- ・ どのような見方をすればよいか

- ・ 多面的・多角的な見方

- ・ 他者の考えを理解する

 - = 対話による

 - = 視覚による

【研究の視点Ⅱ 学びがいのある道徳科の授業の充実】

(4) 道徳的諸価値の理解を深め、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自己の生き方を考える

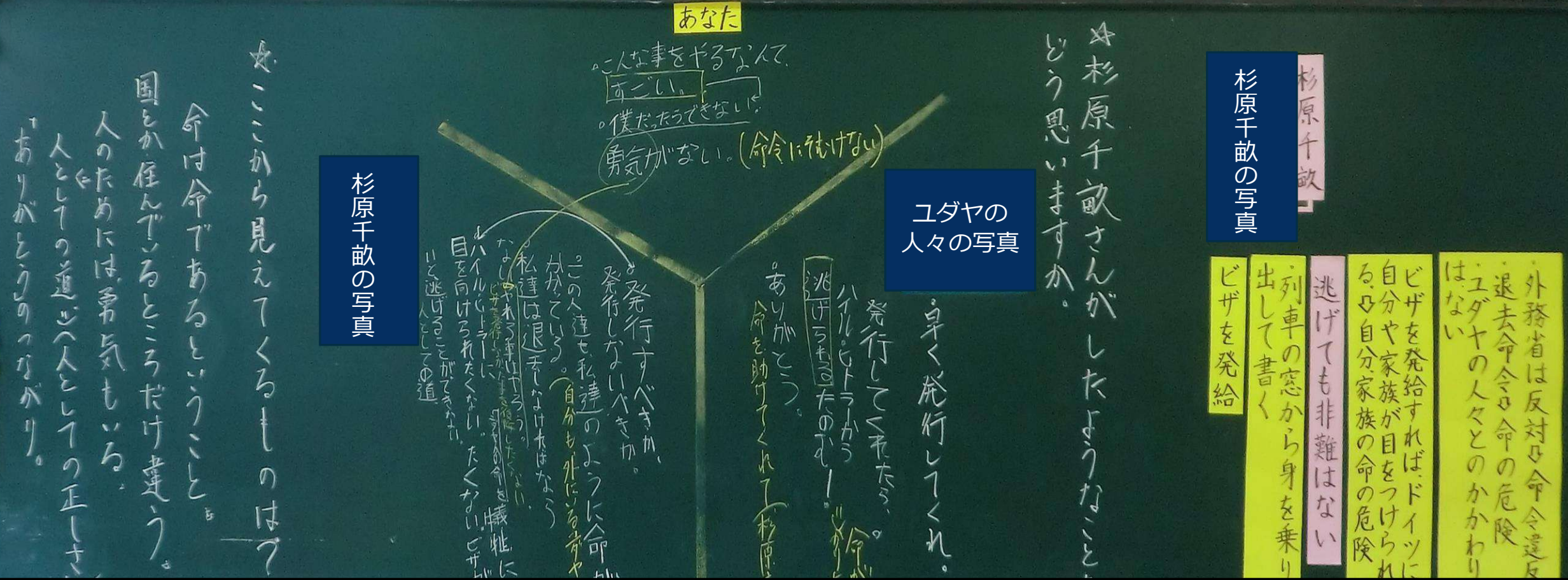
○ 道徳的諸価値についての理解

→ 価値理解・人間理解・他者理解（3つの理解）

○ 自分との関わりで道徳的価値を捉え、自己の生き方を考える

→ 自身の体験や感じ方や考え方を想起しながら

【命のトランジットビザ C-18】



【ねらい】

○ ビザを発行した杉原千畝の生き方を通して、世界の人々と接していくときの思い（あらゆる場で協働するよさ）を大切にしようとする心情を育てる。

【命のトランジットビザ C-18】

☆杉原千畝さんがした素晴らしいこと
どう思っていますか。

ユダヤの人々の
写真

早く発行してくれ。

発行してくれ。

ハイルヒトラーから
逃げらるるたのびー

ありがとう。
命を助けてくれて杉原さん

あなた

こんな事をやるなんて
すごい。
僕だっただけじゃない。
（勇気がない。（命令にそむけない））

私達は退去しなければならぬ
この人達も私達のように命が
かかっている。（自分も外にいるユダヤ人も
私達は退去しなければならぬ）
ハイルヒトラーに
目を向けるれたくない。たくな
いと逃げたいが
人としての道

杉原千畝の写真



ここから見えてくるものは

命は命であるところのこと

国とか住んでいるところだけ違う

人のためには、勇気もいる

人としての道に人としての正しさ

ありがとうのつながり。

【命のトランジットビザ C-18】

あなた

★ここから見えてくるものは...
命は命であるところのこと
国とか住んでるところだけではない
人のためには勇気もいる
人としての道徳へ人としての正しさ
「ありがとう」のつながり。

今日人
ている人
ことが分
であれ
行くと
手を差し
正しい
であれ
のるこ
お母さ
すること
のよう
思は

今日、人の正しいやるべきことは、困っている人を助けることが大事だということがわかりました。「六千人の命のビザ」でいうのであれば、杉原さんがビザを発行するという事です。

どの国の人でも困っているのなら、手をさしのべるという行動は、人として正しい行動だと思います。学校生活であれば、困っている人の相談にのることだし、家庭生活でいえば、お母さんのご飯作りを手伝ったりすることだと考えます。

僕もそのような行動をとりたいなと思います。

と乗り
はい
危険
イツ
れに
かわり
今違反

【明確な指導観の確立】

- 教師の価値理解
- 児童生徒理解
- 教材研究など

【個別最適な学び、協働的な学びのために】

- 授業の質を高めていく
- 共に考え、語り合う「場」
- 教材にマッチした学習方法・形態
- 思考ツールやICTの活用など

ねらいの確認・授業実践

【多様な価値観に触れる】

- 3つの理解
- 自己を見つめる
- 多面的・多角的に考える
(多様な価値観との出会い)
- 自己(人間として)の生き方について考える
- 自分自身のよさに気付く

【評価】

- 指導と評価の一体化
- 学習状況 (学びの過程)
- 道徳性に係る成長の様子
- 授業改善 (検証・内省)

【研究の視点Ⅲ 開かれた道徳教育の充実】

- (1) 地域と連携し、道徳教育を推進する
- (2) インクルーシブ教育の観点や人と人との関わり
- (3) 保護者・地域への積極的な発信

【キーワード】

- 学校内で開くこと
- 家庭や地域社会に開くこと

稲穂がこうべを垂らす豊かな実り、目指すは「よりよく生きる基盤となる道徳性が育つこと」
それは「考え、議論する道徳」⇒「学びがいのある授業」を要とする

子どもの道徳性が育つ「学びがいのある授業を創るために」

- 「考える道徳・議論する道徳」
- 各学年の発達段階に応じた授業を展開する。
(そのために…)
 - ・道徳的諸価値そのものの理解や児童生徒理解、教材研究等、明確な指導観を持つ。
 - ・多様な価値観に触れる
 - ・「価値理解」「他者理解」「人間理解」の学びの場の確実な保障により、ねらいとする道徳的価値の理解を深め、自己(人間として)の生き方について考えさせる。
 - ・自分の中で、よりよく生きようとする力があることに気付かせる。(道徳的価値の自覚)
 - ・子どもの学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握するように努め、本時のねらいや展開と関連付ける。
 - ・目的に応じた教材教具の開発と活用する。

開かれた道徳教育

- 重点内容項目を意識し、各教科等との横断的な学びを実践していく。
- 子どもの道徳的行動を支える思いの意味付け
(= 道徳指導による種まき)
- 様々な人との関わりを大切にする。

よりよく生きる基盤となる道徳性が育つ

子どもの道徳性が育つ「学びがいのある授業」とは

- 真剣に考えることができた時間
- 自分の思いや考えが素直に誠実に発言できた時間
- 自分の思いや考えがみんなに認められた時間
- 自分もっていない価値観に出会えた時間
- 道徳的価値の大切さを再認識、再確認できた時間
- 守るべき道徳を自らが納得してつくることができた時間

道徳教育の推進と充実

- 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心として、道徳教育推進体制を確立
- 各校の実態及び特色を生かした、諸計画の作成
- 重点内容項目を意識し、各教科等との横断的な学びの実現
- 校内研修等の充実

愛顔あふれる子どもたちの

幸せな未来のために・・・